

一年の終わりである師走。文字通り走り回るような何かと忙しい時期です。カレンダーもいよいよ最後の一枚を残すのみとなりました。

年の瀬ということで

『よもやま話』

を紹介します。

「税金よもやま話 犬税・猫税」

将軍綱吉の税 犬公方・将軍綱吉が課した犬税は「犬金上納」という名の目的税で、1年間で約10万両もかかったといわれている中野などの野犬収容施設維持費用に使われ、農民、町民、大名からそれぞれ徴収しました。

昭和の犬税

昭和30年度のデータでみると、実に2686もの市町村で犬税が課されていたようです。昭和57年を最後に廃止になっています。最後の犬税は一頭当たり年額300円でした。

現在の犬税

今でも、生後91日以上の子犬は、狂犬病予防法により、生涯1回の登録と毎年1回狂犬病予防注射を受けることが義務付けられていますので、年額約3000円くらいの事実上の犬税があるともいえます。

ドイツとオランダの犬税

ドイツでは、飼い犬の数に応じた累進税が市町村税としてその飼い主に課されます。犬は糞などによって街を汚すので、地方自治体はその清掃等の費用をまかなうために課すものです。

同様に、オランダでも犬税があり、例えばアムステルダムでは一頭あたり年109ギルダー(約1万5千円)支払うそうです。オランダではこの犬税の為に、飼い主はフンをして堂々と置き去りにします。

中国の犬税

中国では犬を連れて人をほとんど見かけません。税金の高いことが理由の一つです。

犬の登録費用は、北京では、犬一頭に対して、初年度1千人民元(約1万4千円)、2年目以降は5百人民元(約7

千円)が必要です。

猫税

犬に対して課税している国がある一方で、猫に対して課税している国は見当たりません。日本においても猫には課税したことがありません。猫に対する税金が見当たらないのは、犬と違って猫は誰が所有しているのかはっきりしないから、といわれております。

「日本犬のよもやま話」

天然記念物の指定

日本犬保存会は、日本犬の本質や理想的な体型をもとにして、昭和9年(1934)「日本犬標準」を制定し、その大きさにより、小型・中型・大型の3型に分類して保存する方法がとられました。そして、文部省から国の天然記念物として指定されて現在に至っています

型	犬種	天然記念物 指定年度
小型	柴犬	昭和11年(1936)
中型	紀州犬	昭和9年(1934)
	四国犬	昭和12年(1937)
	北海道犬	昭和12年(1937)
	甲斐犬	昭和9年(1934)
大型	秋田犬	昭和6年(1931)

※日本犬保存会は、この6種類のうち、主に柴犬・紀州犬・四国犬の3犬種が多く登録されています。



小型 柴犬

日本犬の中で随一の小型犬種です。6犬種の中では、人気が続いている犬種で、小さい身体の中に日本犬の特徴を十分に備えて、現在日本で飼育され

ている日本犬種の80%位を占めています

性格と態様

人気が続いているということは、飼い易いということです。総体的に頭の良い犬で飼い主の気持ちを読んで行動します。雄犬と雌犬を比べると、雄は、外へ向かう気持ちが強く、雌犬は、家族の気持ちを敏感に汲み取るやさしい傾向があります

毛色

主な毛色は、赤毛、黒毛、胡麻毛の三種類です。日本犬の世界では、茶の毛色を赤毛とっています。柴犬は、この赤毛が多く、八〇%位を占めています。黒毛は、目の上部に白っぽい四つ目という斑点があります。胸もとや腹、足の裏側部分と足先、尾の裏側などは、裏白という白毛で、毛色のコントラストは深味があります。胡麻毛は、赤毛に黒毛が混ざったもので、黒毛犬と同様の白毛の部分があり、渋みのある毛色です。この他、白毛の柴犬も少数存在しています。



PICTO - 1378045

中型 紀州犬

紀伊半島一帯で飼育されていました。素朴な風貌で雄犬は力強く雌犬は優しさを感じさせます。主には獣猟犬として飼育されていました。猪猟にける巧みさは随一とされていますが狩猟人口が減り現在は

家庭犬として飼育されるようになりました

態様

平素は悠然として静かですが注意能力は高く内に秘めた闘志は大きなものがあります。

毛色

毛色は多くが白毛ですが、少数の赤毛、胡麻毛がいます。



中型 四国犬

高知県を主に四国山脈の山間部で保存されてきました。古くは「土佐犬」と呼ばれていましたが土佐闘犬とまぎらわしいので、現在は四国犬と呼ばれて全国的に一般

の家庭で飼われています。野生的な風貌で精悍ないでたちは四国犬特有のもので軽快な歩様の中に隙のない構えはこの犬種の愛好家にはたまらない魅力となっています

態様

隙の無い体様、精悍な風貌、動作敏捷で素軽い犬と形容され、時として日本狼と間違えられたりする野生的な気迫と素朴さが魅力です。

毛色

毛色は胡麻毛が多く少数の赤毛、黒毛がいます。



中型 甲斐犬

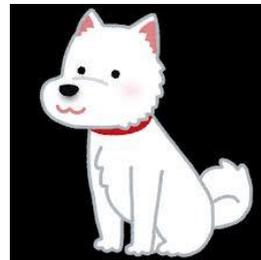
南アルプスの周辺地域を主な生息地としていました。カモシカ等を狩る犬として存在価値は高いものがありました。家庭犬としてよりも自然界で形作られた厳しい姿を有のままに保存されてきました。

性格と態様

紀州犬や四国犬に比べ体高はやや低いものが多く毛色は「甲斐犬虎」とも言われて虎毛のみです

毛色

色調の濃淡で黒虎毛・中虎毛・赤虎毛、と区分しています



中型 北海道犬

平洋に近い広大な地域に散在しそれぞれが異なる系統を構成して保存されていました。血統的には他の日本犬種と同族といわれています。地域ごとに見られた系

統的特徴は徐々に薄れています。

性格と態様

小さめで厚い耳、中型犬としては低めの体高、平地でがっちりとした体形です

毛色

アイヌ犬とも呼ばれますが俗称です。毛色は赤毛が多く白毛・黒毛・胡麻毛等多彩です。



PICTO - 2052894

大型 秋田犬

奥羽山脈一帯で狩猟犬として使われてきたマタギ犬や大館地方の地犬を基にして作られた大型犬種です。

性格と態様

闘犬として強く大きくたくましい犬を作るため他犬種を混入し日本犬としての純粋度の低下した時代もありましたが異犬種臭の排除に務めに日本犬種の中では最も早く世界に知らされた犬種です

毛色

毛色は主に赤毛・虎毛・白毛です。今では外国の登録数が国内を越えています